

第15回住教育運営会議 議事録

記録日：令和2年3月13日

記録者：井上 幸一

団体名	一般社団法人住教育推進機構
開催日時	令和2年3月12日（木） 16:00～18:00
開催場所	コンフォート会議室
運営会議委員	座長 大沼 勝志 住教育推進機構理事長 自然派ライフ住宅設計株式会社 副座長 淀川 洋子 全国古民家再生協会副理事長 イエノコト株式会社 和田 伸之 健康住宅協会 専務理事 Job ライフ研究所 内堀 考史 住宅VR/AR推進協議会 事務局長 株式会社ジブンハウス 事務局 井上 幸一 全国古民家再生協会顧問 委員 南山 和也 株式会社テオリアハウスクリニック 富田 晃夫 株式会社ミサワホーム総合研究所 芝 謙一 住宅保証機構株式会社 矢部 智仁 ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 竹島 靖 竹島事務所 杉本 龍一 伝統構法耐震評価機構 理事長
議事	<p>【理事長挨拶】</p> <p>新型コロナで厳しい時期だがお集まり頂き感謝します。来年度の「住生活基本計画改正」に向けてみなさんの意見を集約したい。</p> <p>【事務局報告】</p> <p>本年度の活動報告があった</p> <p>【各委員意見集約】</p> <ul style="list-style-type: none">・5Gの時代に合わせたAR/VRを取り入れた提案などもより必要な時代。・空き家対策は自治体と民間が連携しての「発生抑制」が大事。・所有者不明土地などの制度整備もしていかななくてはならない。・災害が多くなり民間を含めた「災害支援策」をしていく必要性が高い。・インスペクション・瑕疵保険が進んでいない。消費者へのPRが大事。・新築偏重から既存住宅になる中、インスペクションを推進していかななくてはならない。・健康省エネ住宅の可視化、高齢者でなく若い人向けへ（anan 12月号参照）・すまいづくり、空き家対策・セフティーネット（高齢者対策）大事

	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境（食環境ばかり言われてきた）の専門家を育てる（資格・研修）必要 ・生活（住まい方）を教える人、住宅の環境を教える人の育成 ・住宅・まちづくりでの SDGS(MGGs の検証)の推進 ・健やかな生活、ふさわしい住まい方が大事だと思う。
決定事項	本日の議論を通して、来週早々集約し年度内に国土交通省へ意見を提出。令和2年5月に古民家再生議員連盟ならびに古民家再生議員懇話会にて意見交換を行う。
次月開催日時	令和2年6月3日全国会議
次月開催場所	海運クラブ会議室
次月議事内容	活動進捗共有等